

2021 年度活動報告

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

(特活) 関西 NGO 協議会

2021 年度も新型コロナウイルス感染の影響が続き、活動に様々な制約が生じるなか、オンラインを活用しながら、イベントや事務局運営を行った。

2020 年度の外務省 NGO 研究会で実施した「新型コロナウイルス感染症拡大に対する日本の国際協力 NGO の対応戦略」のフォローアップ調査として 2021 年度も、日本の国際協力 NGO への事業実施面、経営面での影響を分析、報告書を作成し NGO 団体や ODA 実施機関などと共有した。

普及啓発事業としては、第 8 回目となる、若い世代の国際協力・SDGs 啓発活動『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth～私たちが描く持続可能な社会の未来図』は、2 年連続でのオンライン開催となり、関西を中心に日本の様々な地域、および海外から高校生や教員が参加した。また、高校生のアドボカシーセッションでは、貧困と環境問題に対するアジェンダの策定が行われた。今後、世代やセクターを越えたフラットで対等な関係による運営委員会の運営を目指す。

また、参加者・関係者のすべてにおいて「子どもの権利条約」を周知し、そのビジョンが反映された企画内容や運営体制を目指した。また、KANSAI-SDGs 市民アジェンダの取り組みは、会場での分科会の開催や海外出張等が叶わなかったが、関西の市民社会が取り組んできた SDGs の取り組みをまとめた「K-SDGs のあるき方 II～市民のこれまでとこれから～」を配布した。

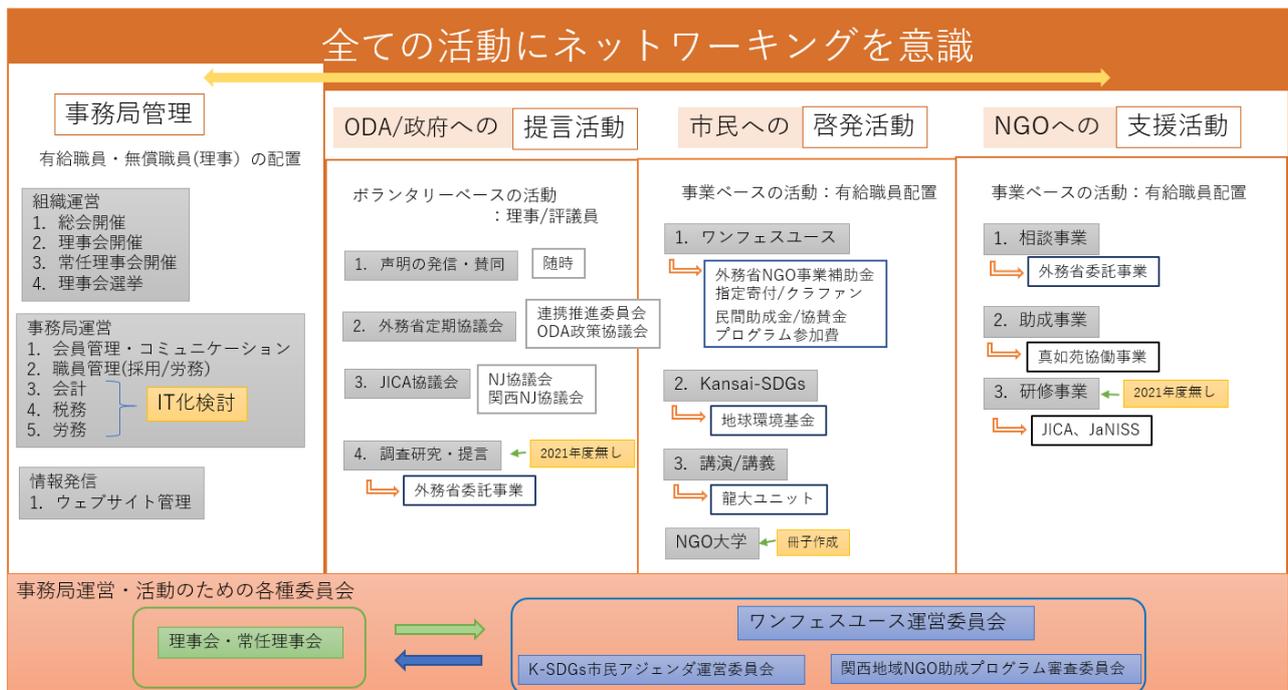
提言活動では、昨年度に続き NGO-外務省定期協議会連携推進委員会、NGO-JICA 定期協議会に委員、コーディネーターを派遣し、地域及び中小規模の NGO の環境整備、質の高い国際協力の実現に向けた ODA との対話、政策提言に参加した。NGO-JICA 協議会については NGO コーディネーターを出し、NGO 側事務局を昨年度に続き担当した。他には、SDGs 市民社会ネットワーク地域ユニットへの参加や大阪マラソン組織委員会チャリティ専門部会を通じ SDGs に関する提言や関西地域 NGO の支援等に積極的にかかわった。

組織強化においては、新しく、2021 年 6 月からテラ・ルネッサンス栗田佳典が週 3 日関西 NGO 協議会に出向し、ワンフェスユースを中心に、各事業を担当した。同年 12 月には、関西 NGO 協議会の正職員となり、事務局次長に就任した。2021 年度はフルタイム職員 2 名（年度途中から 3 名）、パートタイム職員 3 名、業務委託契約職員 1 名、プロボノスタッフ 1 名、インターン 3 名という体制であった。オンラインによる作業が増えたものの、スタッフ Mtg.の回数を増やし、優先順位をつけながら効率よくリモートワークを実施する体制が整った。

受託事業に頼る組織構造から自主事業の拡大を意識し移行する過程で、例えばワン・ワールド・フェスティバル for Youth で行ったクラウドファンディングでは 100 万円を超える結果になるなど、少しずつ財源や事業寄付の増加につながっている。また、課題であったキャッシュフローについては、2018 年度以降徐々に改善され、労働環境も整備されてきた。2021 年度は事務局業務にかかわる人員も増えた中でも、年間を通じて安定したキャッシュフローのもと、活動が継続できている。

次年度は、新しい事務局長を迎える。スタッフひとり一人の能力向上の機会と職場環境を整え、IT 化による業務改善・整理や自己資金比率の向上を目標に、各事業の評価、振り返りをして発展させていく。9 年目となるワンフェスユースの事業を通じ、ユース世代とのさらなる連携を深めながら、関西地域のネットワーク NGO として、市民社会の発展と国際協力の推進に貢献していきたい。

関西 NGO 協議会 3本の活動の柱	
1	ODA/政府への提言活動
2	市民への啓発活動
3	NGO への支援活動



1. ODA/政府への提言活動

事業名 (継続)	外務省定期協議会・JICA 協議会への委員・コーディネーターの参加を通じた提言活動
担当	担当部署：理事会 担当理事： 熱田典子（副代表・NGO-外務省定期協議会連携推進委員会 NGO 側委員） 吉椿雅道（常任理事・NGO-JICA 協議会 NGO 側コーディネーター） 岡島克樹（理事・ODA 政策協議会 NGO 側コーディネーター） 事務局：高橋・栗田
事業目的 と内容	<p>NGO と ODA 関連機関との対話の場へ参加を通じて、関西 NGO 協議会の加盟団体の声を集約し、中小規模 NGO や地域の NGO が活用しやすい制度設計、ODA の課題について NGO 側の意見を集約し NGO 支援制度にむけた提言を行う。また、対話を通じて ODA の透明性・説明責任の向上を図り相互理解を深める日本の国際協力の質の向上を図る。</p> <p>■NGO-外務省定期協議会（オンライン） 担当理事：熱田（連携推進委員会） 担当理事：岡島（ODA 政策協議会）</p> <p>第 1 回連携推進委員会 2021 年 8 月 4 日 14:00~16:00 ○関西 NGO 協議会による報告・協議事項 「新型コロナウイルス感染症拡大に対する日本の国際協力 NGO の対応戦略」研究調査報告 井川 定一 関西 NGO 協議会 提言専門委員政策アドバイザー 「NGO 事業補助金制度改善提案を前提とした、本制度の予算及び令和 1・2 年度の実績状況に関する確認及び意見交換」 高橋美和子 関西 NGO 協議会 事務局長・理事 松田俊夫 外務省 国際協力局 民間援助連携室 室長 ○その他のアジェンダ・議事録（外務省ウェブサイト） https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/shimin/page24_000110.html</p> <p>第 2 回連携推進委員会 2022 年 1 月 28 日 14:00~16:00 ○関西 NGO 協議会による報告・協議事項 「COVID-19 感染拡大に対する日本の NGO の対応戦略」のフォローアップ調査結果概要報告」 井川定一 関西 NGO 協議会 提言専門委員政策アドバイザー ○その他のアジェンダ・議事録（外務省ウェブサイト） https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/shimin/page24_000129.html</p> <p>第 1 回 ODA 政策協議会 2022 年 3 月 24 日 14:00~16:00 ○コーディネーター一同による意見交換</p>

	<p>「ロシアによるウクライナ侵攻への対応について」 ODA 政策協議会 NGO 側コーディネーター一同 上田肇 外務省 国際協力局 政策課 課長 松田俊夫 外務省 国際協力局 民間援助連携室 室長</p> <p>○その他のアジェンダ・議事録（外務省ウェブサイト） https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/shimin/page22_001456.html</p> <p>■NGO-JICA 協議会（オンライン） 担当理事：吉椿 事務局（NGO 側コーディネーター事務局）：高橋</p> <p>第 1 回 NGO-JICA 協議会 2021 年 6 月 3 日 14:00~16:00</p> <p>○関西 NGO 協議会が提案・リードした議題 「NGO-JICA 協議会実施要領見直し」</p> <p>○その他のアジェンダ・要旨議事録（JICA ウェブサイト） https://www.jica.go.jp/partner/ngo_meeting/conference/2021_01/index.html</p> <p>第 2 回 NGO-JICA 協議会 2022 年 1 月 24 日 14:00~16:00</p> <p>○関西 NGO 協議会が提案、リード、かかわった議題 「「JICA が管理する ODA の無償資金協力支払前資金にかかる改善策」による NGO 事業への影響について」 「「JICA 環境社会配慮ガイドライン」の改定プロセスとその結果について」 「NGO 等提案型プログラムの今後について」</p> <p>○その他のアジェンダ・要旨議事録（JICA ウェブサイト） https://www.jica.go.jp/partner/ngo_meeting/conference/2021_02/index.html</p> <p>その他、JICA と NGO とのコーディネーター会議、NGO 側コーディネーター会議を複数回開催し、出席した。</p>
<p>受益対象者および人数</p>	<p>関西 NGO 協議会加盟団体を中心に、ODA の使い道・使い方に関心を持つ NGO/CSO/市民外務省及び JICA の支援スキームを活用している NGO、あるいは今後活用を予定している中小規模/設立間もない NGO など</p>
<p>備考</p>	<p>・関西 NGO 協議会提言専門委員政策アドバイザーについて 2020 年度に井川定一氏（個人会員）に同上の立場で外務省 NGO 研究会の業務を依頼。2021 年度も同研究会のフォローアップ調査業務を務め、外務省定期協議会でも本調査結果について報告がされた。</p> <p>・NGO-JICA 協議会 NGO 側コーディネーター連携事務局について 上記協議会については、JICA が JANIC に委託し連携事務局として 3 年間運営されていたが、9 月末日に廃止が決まったため、NGO 側コーディネーター事務局を務めていた関西 NGO 協議会が、第 2 回 NGO-JICA 協議会開催にかかる運営業務を JICA と分担した。</p>

<p>事業名 （継続）</p>	<p>関西 NGO-JICA 協議会</p>
<p>担当</p>	<p>担当理事：吉椿（常任理事・NGO-JICA 協議会 NGO 側コーディネーター）</p>

	NGO 側事務局：栗田
協働	独立行政法人国際協力機構 関西センター(JICA 関西)市民参加協力課
事業目的 と内容	<p>関西地域における国際協力・SDGs に対する市民の理解や活動の促進と人材育成に向け、JICA 関西と関西地域で活動する NGO それぞれの役割や協働の在り方を検討し、様々なアクターとの連携も視野に入れたパートナーシップによって相乗的かつ効果的な連携事業を創出する。</p> <p>第 2 回関西 NGO-JICA 協議会（オンライン） 2022 年 1 月 21 日 14:00～16:30 * 第 1 回は 2020 年に開催</p> <p>○協議事項 「「多文化共生」をテーマに NGO-JICA の連携について」 「「若い世代の参加と育成（多様なセクターの連携）」をテーマに NGO-JICA の連携について」</p> <p>○アジェンダ、実施報告は JICA 関西、関西 NGO 協議会のウェブサイトへの掲載に向け、準備中。</p>
受益対象 参加人数	<p>関西 NGO 協議会加盟団体、関西地域の NGO、JICA 関西関係者</p> <p>参加者：43 人（NGO_22 人、JICA_21 人）</p>

事業名 (継続)	<p>「新型コロナウイルス感染症拡大に対する日本の国際協力 NGO の対応戦略」 2021 年度フォローアップ調査</p>
実施体制	<p>調査実施主体：特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会 主任調査員：同提言専門委員政策アドバイザー 井川 定一</p>
担当	事務局：高橋、栗田
協力	リタワークス株式会社、コングラント株式会社
事業内容	<p>○研究調査の目的・実施内容 本調査は、2020 年度外務省 NGO 研究会「新型コロナウイルス感染症拡大に対する日本の国際協力 NGO の対応戦略」で実施した調査のフォローアップという位置付けとなる。2020 年度からの変化に着目した傾向分析、決算実績に基づく財務調査等を行い、各団体の活動方針の決定や組織基盤強化に役立てるとともに、各機関への提言を通じて日本の国際協力 NGO の活動環境の改善を図ることを目的とし、アンケート集計結果（分析）から NGO 支援・政策に対する提案までをまとめた。</p> <p>尚、本調査については、外務省連携推進委員会で報告され、タスクフォース等の外務省との議論でも調査データが根拠資料として活用され貢献することが出来た。他、民間助成団体、ネットワーク NGO などにも広く報告がされた。</p> <p>○最終報告書 「新型コロナウイルス感染症拡大に対する日本の国際協力 NGO の対応戦略」 2021 年度フォローアップ調査 http://www.kansaingo.net/kncnews/seisaku/20220224_4.html</p>

事業名 (継続)	JICA「環境社会配慮ガイドライン改定案」「異議申立手続要綱改定案」パブリックコメント実施に向けた NGO/CSO 向け勉強会 (オンライン)
担当	事務局：高橋、仲井 *協力：田中 (個人会員)
協働	国際 NGO センター JANIC、名古屋 NGO センター
協力	北海道国際交流センター、東北 NGO リーグ、横浜 NGO ネットワーク、NGO 福岡ネットワーク、IVY、シャンティ国際ボランティア会、日本国際ボランティアセンター、ひめグロバールネットワークセンター
開催日	2021年7月2日(金) 15:00-17:00
受益対象 参加人数	NGO/CSO 関係者 (JICA 草の根採択団体、NGO-JICA 協議会 NGO 正会員など) 参加者：88名
実施内容	<p>JICA 環境社会配慮ガイドライン (2010年4月公布) は、援助の実施にあたって環境や人権を含む社会への配慮を行うことを定めたものであるが、施行後 10年以内に、レビュー結果に基づく包括的な検討と、必要に応じてガイドラインの改定を行う規定があり、JICA は 2020年8月にガイドライン及び異議申立手続要綱の改定に係る助言を行うことを目的とした「JICA 環境社会配慮ガイドライン改定に係る諮問委員会」(学識経験者、NGO、民間企業/団体、政府関係者で構成) を設置し、改定に向けた協議が行われ、同ガイドラインの改定に向けたパブリックコメントの実施が予定されている。</p> <p>上記委員会の NGO 委員に登壇いただき、ガイドラインの内容やその役割、また、改定のポイント、NGO/CSO として留意すべき点等について勉強会を開催し、NGO/CSO 側の関心を高め、さらに、パブリックコメントへの参加を広く呼び掛けた。</p> <p>○勉強会講師 織田 由紀子 日本女性監視機構 (JAWW) 副代表 木口 由香 メコン・ウォッチ 事務局長/理事 田辺 有輝 「環境・持続社会」研究センター (JACSES) プログラム・ディレクター 日比 保史 コンサベーション・インターナショナル・ジャパン代表理事</p> <p>○報告レポート http://www.kansaingo.net/kncnews/jigyo/20210713.html</p>

事業名	声明の発信、賛同、パブリックコメントの提出
担当	理事会：三輪代表理事を中心に理事会 事務局：高橋、栗田
	<p>貧困や飢餓、偏見・差別など、生きていくことが困難な状況にあるにもかかわらず、それを政府や社会に訴えることが出来ない人たちがいます。または字の読み書きができない、通信手段がないため具体的にどう訴えていけばよいかわからないという人々もいます。NGO の政策提言活動はそうした人たちの声を大切に、途上国政府だけでなく、先進国の世論にも訴え改善策を提言し、よりよい社会の実現を目指します。</p>

	また、政策提言活動において、NGO 間のネットワーキングは提言活動を推進する要となります。NGO ひとつひとつの団体にできることは限られていても、NGO のネットワークを構築することで、より効果的な提言活動が可能となります。関西 NGO 協議会では、理事会を中心に、加盟団体、研究機関、全国のネットワーク NGO と共に提言活動を推進します。
--	---

要望書の発信

「ODA 事業に従事・協力してきたアフガニスタン人の家族を含む国外退避に関する要望書」

発信者	代表理事：三輪敦子
要望先	外務省
配信日	2021 年 8 月 25 日
URL	http://www.kansaingo.net/kncnews/seisaku/20210825_4.html

パブリックコメントの提出

「JICA 環境社会配慮ガイドライン」「異議申立手続要綱」改定案パブリックコメント

発信者	代表理事：三輪敦子
提出日	2021 年 8 月 12 日
提出先	独立行政法人国際協力機構（JICA）審査部環境社会配慮審査課
内容	「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月制定、同年 7 月施行）では、『本ガイドライン施行後 10 年以内にレビュー結果に基づき包括的な検討を行うことになっている。関西 NGO 協議会では、かつてガイドライン策定に関して提言専門委員会の委員が参加した経緯もあることから、ODA 事業の透明性と説明責任の向上に NGO/CSO として寄与すべく、パブリックコメントを通じて意見書を提出した。

メッセージの発信

ウクライナ危機に対する緊急声明 *日本語、英語、ウクライナ語、ロシア語による発信

発信者	関西 NGO 協議会 ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2021（ユース提言セッション有志一同、プログラム実施セッション有志一同、イベント運営セッション有志一同、ユース OV 会*、運営委員会）
発信日	2022 年 3 月 1 日
URL	http://www.kansaingo.net/kncnews/message/20220301.html

事業名	声明、要望書の賛同、アドボカシー活動への参加
担当	理事会 事務局：栗田、高橋
	加盟団体をはじめ、関係する NGO が発信した声明や要望書に団体として賛同し、広く社会に訴えかけるアドボカシー活動、関係省庁に対する提言活動を展開した
	【参加】子どもの権利条約関連
	ワンフェスユース事業の中に、子どもの権利条約の理念を反映させ、子どもと若者のセーフガーディングをより遵守していくため、「子どもの権利条約キャンペーン」「子どもの権利条約関西ネットワーク」の構成団体となり、子どもの権利条約のアドボカシー活動に参加。

【賛同】 退避を求めるアフガニスタン人受け入れに関する政府への要請	
発信者	公益社団法人シャンティ国際ボランティア会、特定非営利活動法人難民を助ける会、一般財団法人パスウェイズ・ジャパン、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
担当	理事会
内容	2021年9月8日賛同 9月9日発信者から日本政府へ提出された。 1. 今次アフガニスタン情勢の激変に関わる人道的措置として、日本関連アフガニスタン人受け入れの方針と支援政策を決定すること 2. アフガニスタンからの自由な出国の恒常的な確保のための国際社会と連携した政治的努力 3. 在留資格認定証明書発給手続き及び査証（ビザ）発給手続きの、簡素化と迅速化を至急進めること 4. 家族及び親族の帯同への人道的な対応 5. 退避者の入国後（及びすでに在留しているアフガニスタン人）の在留資格等 6. 日本到着後の民間による受け入れ体制作りとの連携と公的資金による支援
【賛同】 ミャンマークーデター関連	
発信者	アユス仏教国際協力ネットワーク、国際環境 NGO FoE Japan、日本国際ボランティアセンター(JVC)、武器取引反対ネットワーク(NAJAT)、メコン・ウォッチ
担当	理事会
内容	2021年12月1日賛同 同日、日本政府へ提出された。 対ミャンマーへの経済支援の見直し、ミャンマーに進出している企業に人権デュー・ディリジェンスを行うことを求め、その後の対策に協力すること、食糧援助等の人道支援をミャンマー国軍を通さない形での継続的な実施等。
【賛同】 ウクライナ関連	
世界にあなたの声をー ロシア・ウクライナ戦争に対し、国家を越え市民の声をあげる	
担当	理事会
運営	国際協力 NGO センター（JANIC）、岡山 NPO センター、PIECES、かものはしプロジェクト、渡部カンコロンゴ清花(NPO 法人 WELgee)、sai company、株式会社社五島列島なかむらただし社、田中宝紀（YSC グローバル・スクール）、TDU・雫穿大学
URL	https://voiceforpeace.world/



2. 国際協力に関する知識の普及、啓発活動

事業名 (継続)	ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2021 ～私たちが描く持続可能な社会の未来図～
担当	事務局：佐野、栗田、仲井 アルバイト：菅野 運営委員長：栗田
協力	インターン：武藤（近畿大学）、佐藤（追手門学院大学）、西村（大阪大学） 緊急対策本部：田尻（個人会員）、高橋、栗田 国際協力アクションプランコーディネーター：久保
審査員	アワード審査：石崎雄一郎（ウータン・森と生活を考える会）、久保友美（プログラムコーディネーター）、坂西卓郎（PHD 協会）、山本佳史（ソーシャルギルド） コンペティション大会：石崎雄一郎（ウータン・森と生活を考える会）、熱田典子（アジア協会アジア友の会）、榎並ゆかり（龍谷大学）、佐藤正隆（リタワークス(株)） 第1次審査：東川貴子（緑の地球ネットワーク）、片田孫朝日（灘高校・教員）
コメンテーター	ブラッシュアップのための発表会：江角泰・栗田佳典(テラ・ルネッサンス)、加藤綾乃（NGO 福岡ネットワーク）、坂西卓郎（PHD 協会）、田中十紀恵（気候ネットワーク）、安里佳世子（大阪府立高石高等学校）、山本佳史（ソーシャルギルド）
実施日時	2021年12月19日（日）9：40～16：00
実施場所	ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 公式ホームページ特設会場
受益対象 参加人数	参加者総数 900人（延べ）、参加高校 25校 （参加高校生・教員約350人、関係者及びNGO約80人）
共催・協力	【主催】ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 運営委員会（高校教員、ユース、加盟NGO職員、企業で構成）、特定非営利活動法人関西NGO協議会 ※共同主催 【協力】公益財団法人大阪 YMCA、一般社団法人ソーシャルギルド、ワンフェスユースOV会、ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 高校生実行委員会
実施内容	2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続きオンライン開催とした。9月に召集した高校生実行委員会の活動は、対面とオンラインを併用した開催の機会をつくり、プログラムの企画・立案やオンライン特設会場のデザイン及び設置、また、イベント運営のためのボランティア研修、さらに、提言書の策定やシンポジウムの準備を行い、高校生と大学生サポーターが事業の中心となり若い世代がSDGs達成の重要なアクターとして国際協力イベントを実施した。 また、11月20日「世界子どもの日」と12月10日「世界人権デー」に合わせ、事業目的に位置付けた「子どもの権利」の普及啓発キャンペーンを実施した。クラウドファンディングでは、130名以上の賛同や共感とともに、107万円を超える寄付を得た。また、事業実施前後に高校生実行委員会を対象に「子どもの権利に関する意識調査」を行った。その結果、子どもの権利条約の内容理解度は50%から87%に向上し、「自分で国や社会を変えることができると思う」回答した高校生は56%から75%に向上した。 関西地域の高等学校や高校生を中心に、一定の認知がされており、口コミや新聞掲載を通して事業の信頼性が高まった。近年は、各地域で様々なセクターが協力して次世代を育成する事業が増えたが、今後も若い世代がつくる国際協力イベントを通して若い世代と、多様なセクターが連携・協働しチャレンジするアクションプラットフォームをつくることで、日本社

	<p>会における若い世代のプレゼンスの向上を目指す。本事業は、引き続き、国際協力分野の次世代の担い手を育成する。</p> <p>【2021年度 事業の概要】</p>
名 称	『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 2021』
サブタイトル	～私たちが描く持続可能な社会の未来図～
内 容	高校生のためのアクションプラン応援プログラムブラッシュアップのための発表会・コンペティション大会、アクションプラン発表会、高校生実行委員会企画の開会式・閉会式、講師との協働プログラム、ワークショップ、ユースアクション報告会、ユース提言シンポジウム など
後 援	外務省、文部科学省、独立行政法人国際協力機構関西センター、大阪府教育委員会、ESD 活動支援センター、近畿地方 ESD 活動支援センター、公益財団法人大阪府国際交流財団、認定 NPO 法人開発教育協会（DEAR）、朝日新聞社、関西 SDGs プラットフォーム
協 賛	近畿労働金庫、真如苑、リタワークス株式会社、日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）、株式会社オルタナティブツアー、「ステハジ」プロジェクト 株式会社 OSG コーポレーション
補助金・助成金等	外務省 NGO 事業補助金事業、阪神高速 未来へのチャレンジプロジェクト助成事業、公益財団法人カメイ社会教育振興財団、独立行政法人環境再生保全機構、一般財団法人日本国際協力システム、近畿ろうきん・社会貢献預金（笑顔プラス）寄付金



事業名 (継続)	市民・市民社会のためのSDGs普及啓発と行動変容を促すための関西地域SDGsプラットフォーム形成にむけたネットワーク事業 ※地球環境基金
担当	事務局：仲井、高橋 アルバイト：菅野、富永
実施内容	<p>■中高大学生を対象としたSDGs意識調査アンケート実施</p> <p>ユース世代がSDGsについてどのように理解し、何を考えているのかを明らかにすべく、関西の中高大学生1000人弱を対象とした大規模なアンケートおよび、ワンフェスユース高校生実行委員17人を対象とした、自由記述に比重を置いた小規模なアンケートを実施し、調査結果報告書として冊子にまとめた。冊子の中で、大規模アンケートについてはクロス集計分析も行っている。また小規模アンケートの結果についてはその内容を英語に翻訳し、冊子の内容と併せてウェブサイトにて公開している。</p> <p>■セミナー開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JICA環境社会配慮ガイドライン勉強会(7/2) ガイドライン改定案パブリックコメントに向けたNGO/CSO関係者向け勉強会を、JANIC・名古屋NGOセンターとの共催でオンラインにて開催した。講師：織田由紀子・木口由香・田辺有輝・日比保史 ・VLRから探る地域のSDGs推進～地方自治体と市民社会の協働の可能性～(9/24) VLRに焦点を当て、CSOと地方自治体の協働事例を中心にVLR(Voluntary Local Review)について紹介をするセミナーを、SDGs市民社会ネットワークとの協働で開催した。登壇者：三輪敦子・東福光晴・堺勇人・藤野純一・東信史・栗田佳典 <p>■ユースアジェンダの策定</p> <p>高校生の専門チーム「ユース提言セクション」を立ち上げ、ユースアジェンダとして貧困(アフガニスタンの教育問題)と環境(海洋プラスチック問題)に関する提言(貧困チームは同世代の高校生に向けた動画、環境チームは学校に向けた提言書)を作成した。またそれぞれ講師を招いたオンラインシンポジウムを、ワン・ワールド・フェスティバル for Youth内で開催した。提言動画・提言書は専用ウェブサイトにて公開している。</p> <p>■KANSAI-SDGs市民アジェンダ</p> <ul style="list-style-type: none"> 【事務局】仲井、高橋、岩崎、熱田 【分科会座長・副座長】新田、田尻、三輪、吉椿、栗田、東川 【分科会アドバイザー】岡島、松岡 <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会開催(3/3)(Zoom開催、参加者12名) <p>2021年度からは地球環境基金の助成事業内の一部として再始動することを確認し、各々の問題意識や今後についての考えを共有した。</p> <p>■海外の市民社会の調査</p> <p>専任のアルバイトスタッフを雇用し、ユースとの協働に力を入れている団体・地域でのSDGs推進活動を行っている団体・地域のネットワークNGOを中心に、北米・ヨーロッパ・</p>

	アジアの NGO/CSO を調査し、リスト化した。今後はその情報を取りまとめながら実際にコンタクトをとり、連携の可能性を探っていく。
--	--

事業名 (継続)	講演、講座、講師紹介		
担当	事務局：高橋、仲井、佐野、栗田 協力役員：熱田、吉椿、武田 ほか、加盟団体・個人会員（以下参照）		
実施内容	大学や他セクターからの依頼で、国際協力 NGO の活動や国際協力の潮流について、国外・国内の事例を併せ広く学生、社会人に周知する講座の講師、加盟団体への講師紹介を行った。		
	講演・講義依頼（主なもの）	講義名	受講者人数
	龍谷大学（後期、全 15 回）	『国際 NGO 論』 ※NGO ユニット型講座	龍谷大学経済学部・法学部の学生 46 名

< 龍谷大学ユニット >（第 13 回まで zoom で実施）

	授業日	講師名	テーマ	所属団体
1	9 月 22 日	栗田佳典 仲井友佳子	授業ガイダンス SDGs 概論	(特活) 関西 NGO 協議会
2	9 月 29 日	佐野光平	私たちの生活と世界とのつながりについて	(特活) 関西 NGO 協議会
3	10 月 6 日	熱田典子	水の問題と保健衛生～ネパールの事例から～	(公社) アジア協会アジア友の会
4	10 月 13 日	奈良雅美	途上国・日本国内での女性の自立を目指した支援	(特活) アジア女性プロジェクト AWEP
5	10 月 20 日	石崎雄一郎	ボルネオの熱帯林破壊と私たちの消費生活とのつながり	ウータン・森と生活を考える会
6	10 月 27 日	松岡秀紀	企業のサプライチェーンから人権問題を考える	(一財) アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）
7	11 月 3 日	役重善洋	パレスチナ／イスラエル問題から「民族」と「宗教」を考える	パレスチナの平和を考える会
8	11 月 10 日	栗田佳典	子ども兵の課題と日本の NGO の挑戦	(特活) テラ・ルネッサンス
9	11 月 17 日	田中恵子	難民の現状と日本在住難民の課題	RAFIQ 在日難民との共生ネットワーク
10	11 月 24 日	小吹岳志	SDGs 目標 12 の達成を実現させる消費社会を考える	持続可能な消費ネットワーク
11	12 月 1 日	伊与田昌慶	気候変動と市民社会：COP 参加経験から	(特活) 気候ネットワーク

12	12月8日	佐藤友紀	スマホから考える世界・わたし・SDGs	(特活) 開発教育協会
13	12月15日	武田かおり	意見を政策に反映させ、よりよい社会の実現を目指す方法	(特活) AM ネット
14	2022年 1月12日	吉椿雅道	災害支援の現場から考える市民社会	(特活) CODE 海外災害援助市民センター
15	1月19日	栗田佳典 仲井友佳子	全講義の振り返り	(特活) 関西 NGO 協議会

事業名 (継続)	関西 SDGs プラットフォーム運営委員会・総会の参加 (事務局：JICA 関西他/近畿経済産業局)			
担当	副代表理事 熱田			
実施内容	運営委員会の参加 関西 SDGs 基金（仮）設立の検討に関する JICA 関西はじめ運営委員会との調整等			

事業名 (継続)	文科省地域との協働による高等学校教育改革推進事業 奈良育英西高等学校グローバル型コンソーシアム運営委員			
担当	田尻（個人会員）、事務局補佐：高橋			
内容	グローバルな視点を持って地域を支えるリーダーを育成するため、コンソーシアム運営委員会（年2回内1回はオンライン開催）に参加し、奈良育英西高等学校の SDGs 達成に向けた参加型事業のプログラム、学内の取り組みに対して提言を行った。			

事業名	関西 NGO 大学「N大30年のあゆみ」			
担当	冊子作成担当（N大運営委員 荒川、佐久間、田中） 事務局：高橋			
実施内容	2021年度は、30年のあゆみを振り返り、参加型の講座やワークショップでの学び、修了生を中心とした運営委員会による企画運営の内容、関西をはじめ全国の NGO/CSO への影響や役割についてまとめた冊子を作成、出版し関係者に広く配布した。			

事業名	京都 SDGs ラボ SDGs 情報発信			
担当	栗田			
実施内容	月に一度のペースで京都 SDGs ラボにおける SDGs 関連の情報発信を行い、京都府内の教育機関、JICA 関係者、企業、NGO を対象に SDGs を通じた連携や協働を促した。			

事業名	大阪大学×SDGs「学生動画コンテスト&フォーラム」最終審査員			
担当	高橋			
実施内容	大阪大学および世界各国の提携校から応募のあった SDGs 動画コンテストの最終審査、および2022年6月25日に開催されたフォーラムでの賞状授与。			

3. NGO への支援活動

事業名 (継続)	国際協力に関する相談対応、出張サービス（ブース出展、講演など）の実施 *外務省 NGO 環境整備事業
担当	事務局：高橋、佐野、仲井、栗田
実施日時	通年
実施場所	関西 NGO 協議会事務所、オンライン、諸会合、高校・大学など
受益対象者、人数	国際協力に関心のある個人、団体、教育機関、企業など 相談数：475 件 出張サービス：6 件
実施内容	<p>2021 年度の上半期は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施した、令和 2 年度外務省 NGO 研究会報告書『新型コロナウイルス感染症拡大に対する日本の国際協力 NGO の対応戦略』の関する問い合わせや相談対応が増加した。講演依頼等の出張サービスは、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置を受け夏以降に減少した。当会に寄せられた国際協力、NGO 活動に関する相談、国際協力、SDGs に関する講演やイベントでのブース出展依頼に対応した。</p> <p>また、下半期は、『新型コロナウイルス感染症拡大に対する日本の国際協力 NGO の対応戦略』のフォローアップ調査報告書をもとに、調査結果に基づいた相談対応を行った。さらに、中間組織や業界・団体とのネットワーク、NGO と企業、NGO と一般市民の問い合わせ対応の他、国際協力 NGO を助成対象とする民間助成団体や基金への情報提供や連携・協力の関係づくりを意識して活動を展開した。</p> <p>全国相談員連絡会議（2 回）また、2022 年 1 月以降は、全国の外務省 NGO 相談員と情報交換をする「ランチミーティング」を実施した。各地域の NGO 関係者と力を合わせる場をつくり、地域からの相乗効果や影響力のある声をつくる機運を高めた。</p> <p>近畿ブロック相談員ミーティング（1 回）、全国相談員連絡会議（2 回）</p>

事業名 (継続)	第 6 回 関西地域 NGO 助成プログラム		
担当	理事：中山麻衣子 事務局：高橋、栗田、仲井		
協働	宗教法人 真如苑		
最終審査 (公開プレゼン)	日時：2021 年 11 月 27 日（土）12：30～17：00 会場：大阪梅田アプローズタワー貸会議室 7 号室		
助成期間	2021 年 12 月 1 日～2022 年 11 月 30 日		
助成テーマ	①組織基盤強化助成 ②プロジェクト実施助成		
助成先	プロジェクト	カディプロジェクト	糸紡ぎによる就業場所づくりのための実寸大模型の制作事業

	プロジェクト	(特活)FootRoots	Pendiente del Destino-女性の未来を彩るクラフトジュエリーワークショップ-
	プロジェクト	ネパール虹の家	ネパール地震 被災地の子どもたちと女性のための復興コミュニティづくりと学校教育支援
	組織基盤	(一社)Bokk Jambaar	広報活動強化事業
	組織基盤	(特活)Piece of Syria	バックオフィス強化プロジェクト
(総額 120 万円)			
審査委員会	審査委員長：新田和宏（近畿大学教授） 審査委員：八尾高伸（近畿ろうきん）、中山麻衣子（税理士） 原島照司・石井康史（真如苑）		

事業名 (継続)	大阪マラソン組織委員会チャリティ専門部会運営委員
担当	事務局：高橋
内容	大阪チャリティマラソン支援先団体（NGO,NPO など）の審査、選考基準の策定等にかかわり、スポーツを通じたチャリティ文化の醸成、大阪・関西を含む全国の非営利セクターのチャリティパートナーとしての参加促進に寄与した。感染拡大の影響で委員会開催、公募の開始等実施スケジュールが後ろ倒しとなり、2022年4月から再開予定。

事業名 (継続)	インターン生の受け入れ
担当	事務局：佐野、仲井
インターン	武藤雅隆さん 近畿大学3年（6月～3月） 主に、ワンフェスユース事業の「高校生によるポスターセッション」コーディネーション、事前審査業務、ブラッシュアップ交流会の補助業務、当日の司会進行を担当。終了時には、ユース事業の現状を分析し、提言書を作成した。
	佐藤淑美さん 追手門学院大学国際教養学部国際日本学科3年（6月～3月） ワンフェスユース事業における高校生プログラムのコーディネーション、高校生実行委員会のフォローアップ、クラウドファンディングの実施支援を担当した。高校生委員への啓発効果、継続的な活動につなげるための提案書を作成した。
	西村健さん 大阪大学外国語学部アラビア語専攻入学2年 主に、広報を担当した。

4. 組織、事務局

理事会	2021 年度理事会の開催																
担当	事務局：高橋																
理事	<p>◆常任理事</p> <p>代表理事 三輪敦子 (特活) AM ネット</p> <p>副代表理事 熱田典子 (公社) アジア協会アジア友の会</p> <p>常任理事 吉椿雅道 (特活) CODE 海外災害援助市民センター</p> <p>◆理事</p> <p>栗田佳典 (特活) テラ・ルネッサンス</p> <p>岡島克樹 大阪大谷大学 教員</p> <p>中山麻衣子 税理士</p> <p>村尾佳子 グロービス経営大学院経営研究科副研究科長/常務理事</p> <p>※高橋美和子 (特活) 関西 NGO 協議会 (職責)</p>																
監事	<p>岩崎裕保 (特活) 開発教育協会/DEAR</p> <p>武田かおり (特活) AM ネット</p>																
実施内容	<p>2021 年度は COVID-19 の影響を受け、すべてオンラインで開催された。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>日程</th> <th>議題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回</td> <td>5 月 28 日 (金) 18:00-19:00</td> <td>代表理事及び常任理事 (副代表含む) の決定。ワンフェスユース緊急対策本部メンバーについて 等</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>7 月 15 日 (木) 18:00-20:00</td> <td>2020 年度の事業評価</td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>2 月 17 日 (木) 10:30-12:45</td> <td>外務省・JICA 各協議会における課題と今後の体制、2022 年度理事会構成および次回理事選挙 (理事任期 2023-2024) について 等</td> </tr> <tr> <td>第 4 回</td> <td>5 月 6 日 (金) 10:00-12:00</td> <td>2021 年度活動計画書・予算 2022 年度活動報告・決算 事務局労務体制等</td> </tr> </tbody> </table>		回数	日程	議題	第 1 回	5 月 28 日 (金) 18:00-19:00	代表理事及び常任理事 (副代表含む) の決定。ワンフェスユース緊急対策本部メンバーについて 等	第 2 回	7 月 15 日 (木) 18:00-20:00	2020 年度の事業評価	第 3 回	2 月 17 日 (木) 10:30-12:45	外務省・JICA 各協議会における課題と今後の体制、2022 年度理事会構成および次回理事選挙 (理事任期 2023-2024) について 等	第 4 回	5 月 6 日 (金) 10:00-12:00	2021 年度活動計画書・予算 2022 年度活動報告・決算 事務局労務体制等
回数	日程	議題															
第 1 回	5 月 28 日 (金) 18:00-19:00	代表理事及び常任理事 (副代表含む) の決定。ワンフェスユース緊急対策本部メンバーについて 等															
第 2 回	7 月 15 日 (木) 18:00-20:00	2020 年度の事業評価															
第 3 回	2 月 17 日 (木) 10:30-12:45	外務省・JICA 各協議会における課題と今後の体制、2022 年度理事会構成および次回理事選挙 (理事任期 2023-2024) について 等															
第 4 回	5 月 6 日 (金) 10:00-12:00	2021 年度活動計画書・予算 2022 年度活動報告・決算 事務局労務体制等															

常任理事会	2021 年度常任理事会の開催
常任理事	三輪敦子 (代表理事)、熱田典子 (副代表理事)、吉椿雅道 (常任理事) 事務局：高橋、*栗田 (12 月以降)、*岡島 (政策提言関連)
実施日	理事会前、必要に応じて開催 【会場】関西 NGO 協議会事務局、オンラインの併用

監査	2021 年度事業及び会計監査の実施
----	---------------------------

監事	岩崎裕保・武田かおり
実施日	2022年5月19日13:00~16:00【会場】関西NGO協議会事務局 事務局対応：栗田、高橋

各種定例委員会への参加	
子どもの権利関西ネットワーク（月1回）	高橋、栗田
SDGs ジャパン地域ユニット（月1回）	高橋、仲井、理事：岡島
JaNISS（安全危機管理イニシアティブ）定例会	高橋、栗田

事務局・各運営委員会

2021年度事務局体制	
事務局スタッフ	高橋美和子（事務局長/職責理事） 佐野光平（ワンフェスユース事業担当） 仲井友佳子（SDGs 普及啓発/K-SDGs） 栗田佳典（事務局次長:2021年12月より） 山本佳史*プロボノスタッフ
アルバイト	菅野諒子 富永美香 武藤雅隆 2022年2-3月 佐藤叔美 2022年2-3月
インターン	武藤雅隆（近畿大学3年） 佐藤叔美（追手門学院大学3年） 西村健（大阪大学2年）
業務委託	井川定一*提言専門委員政策アドバイザー 久保友美*ワンフェスユースコーディネーター
ボランティア	中村順子

2021年度ワンフェス for Youth 運営委員会	
運営委員長 監事	運営委員長：栗田佳典（（特活）テラ・ルネッサンス） 副運営委員長： 窪田勉（兵庫県立兵庫高等学校） 鈴木千花（Japan Youth Platform for Sustainability 事務局参画部） 監事： 坂西卓郎（（公財）PHD協会） 田中めぐみ（京都女子中学校・高等学校教員）
緊急対応本部	田尻忠邦（個人会員） 栗田佳典（関西NGO協議会事務局次長/運営委員長） 高橋美和子（関西NGO協議会事務局長）

	窪田勉（兵庫県立兵庫高等学校）
運営委員 （所属組織）	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府立高石高等学校 ・兵庫県立兵庫高等学校 ・神戸龍谷中学校高等学校 ・京都女子中学校・高等学校 ・立命館宇治中学校・高等学校 ・YMCA 学院高等学校 ・（公社）アジア協会アジア友の会 ・（公財）大阪 YMCA ・（特活）テラ・ルネッサンス ・（公財）PHD 協会 ・（一社）ソーシャルギルド ・（社福）聖ヨハネ学園 ・ワンフェスユース OV 会 ・朝日新聞社 ・（特活）関西 NGO 協議会※事務局
事務局	栗田佳典、佐野光平、仲井友佳子

2021 年度ワンフェス for Youth 高校生実行委員会	
メインフォーカル 代表 顧問	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム実施セクションメインフォーカル 森山優星（京都産業大学附属高等学校） ・イベント運営セクション代表 中谷優仁（大谷高等学校） ・ユース提言セクション共同代表 中島優梨子（淑徳高等学校） 宮迫怜菜（大阪 YMCA 国際専門学校） ・顧問： 田中めぐみ（京都女子高等学校教員）
実行委員 11 名 （所属高校）	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府立東淀川高等学校 大阪 YMCA 国際専門学校 大谷高等学校 京都産業大学附属高等学校 京都女子高等学校 神戸龍谷高等学校 小林聖心女子学院高等学校 淑徳高等学校 兵庫県立長田高等学校 兵庫県立兵庫高校 第一高等学院高等学校 同志社高等学校 立命館宇治高等学校
事務局	高橋美和子、栗田佳典、佐野光平、仲井友佳子

2021 年度 KANSAI-SDGs 市民アジェンダ運営委員会	
運営委員	<p>【分科会座長・副座長】</p> <p>三輪敦子（AM ネット）</p> <p>新田和宏（個人会員/近畿大学）</p> <p>田尻忠邦（個人会員/大阪 YMCA）</p> <p>吉椿雅道（CODE 海外災害援助市民センター）</p> <p>栗田佳典（テラ・ルネッサンス/関西 NGO 協議会）</p> <p>東川貴子（緑の地球ネットワーク）</p> <p>【分科会アドバイザー】</p> <p>岡島克樹（大阪大谷大学）</p> <p>松岡秀紀（個人会員/ヒューライツ大阪）</p>
事務局	仲井友佳子、高橋美和子、岩崎裕保、熱田典子

2021 年度関西地域 NGO 助成プログラム審査委員会	
審査委員	<p>新田和宏（近畿大学教授/個人会員）</p> <p>浦田和久（近畿ろうきん地域共生推進室）</p> <p>中山麻衣子（税理士）</p> <p>原島・石井（真如苑社会交流部/賛助会員）</p>
事務局	高橋美和子